

注目の「Airシフト」導入店取材

Lino Drops Kamakura

やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス
AirSHIFT

アクセサリ専門店
Lino Drops Kamakura
スタッフ数/7人
副店長/陸門浩行氏

コロナ禍の入店制限とスタッフ増員を機に導入

シフト管理負担が大幅に軽減されスタッフの現場理解も向上



国内初となる桜貝を使ったアクセサリ・雑貨を販売する、神奈川県鎌倉市の「Lino Drops Kamakura」。感染対策として始めた入店制限をきっかけに、スタッフ増によるシフト管理負担を増やさないため、「Airシフト」を導入し高い効果を実感している。

神奈川県鎌倉市の由比ヶ浜で採取した桜貝を使ったアクセサリ専門店「Lino Drops Kamakura」。桜貝は1年もの歳月をかけて洗浄し、本来の光沢と色彩を際立たせた後、特殊樹脂でコーティングする。これにより、薄さ0・1mmの繊細な桜貝を、アクセサリや雑貨として日常使用できる商品に仕立てている。

店内には一つずつ丁寧に手作りされた、ピアスやネックレス、ブレスレット、ブックマークなど、さまざまなアイテムが並ぶ。いずれもシンプルなデザインであることから、幅広い世代から支持を得ている。

2019年11月には、同店の人気商品である「桜貝のネックレス」が、鎌倉の風土・歴史・文化が育んだ鎌倉らしさを感じさせる商品に贈られる「かまくら推奨品」に認定。これを後押しにブランド認知度もより一層向上し、同店目当てに鎌倉を訪れる人も多い。

コロナ禍で入店制限の必要性からスタッフを増員

手書きによるシフト管理から「Airシフト」でのシフト管理に変更

「コロナ禍でソーシャルディスタンスを保持するため、入店制限を行う必要性が高まりました。そこで、リクルートが提供している受付・順番待ちをiPadで管理できる「Airウェイト」と予約情報を一元管理できる「Airリザーブ」を、20年6月より導入しました」と話すのは、副店長の陸門浩行氏。

コロナ禍以前の来店客数は、1日当たりおよそ500〜600人。20年6月の緊急事態宣言明けでも、1日50人が目的来店する。来店されるお客様が安心して買物できるよう、入店人数を4人までに制限することで感染対策を実施。お客様をスムーズに案内するために、店頭にスタッフ1人を常駐させ、予約の確認や「Airウェイト」の利用方法の案内などを行う必要があった。

この新体制により、これまで4人体制だったパート・アルバイトを3人増員。スタッフが増えても、スムーズなシフト管理ができるようにと「Airシフト」の導入を決めた。

「Airシフト」は、シフト表の作成やシフトに関するやりとりを楽にするシフト管理サービス。陸門氏は、「Airウェイト」「Airリザーブ」を活用してきた流れで「Airシフト」を知り、初期投資が0円で、ランニングコストは1人当たり月額110円の低価格であることも、導入を決めた理由の一つだったという。

「これまでは4人でしたので、曜日や時

間を決めた固定制で回しており、シフトの希望はバックヤードにあるカレンダーに各自で書き添えてもらう方法をとっていました。しかしスタッフを増やすとなると、こうしたやり方では限界があるだろうとアナログからITへの移行を考えました」（陸門氏）

希望シフト提出の要請やリマインドは自動送信

カレンダーに自動集計されシフト調整の手間が大幅に改善

「Airシフト」は、希望シフト提出の要請や提出忘れのリマインドを、スタッフに自動で送信。さらに受信した希望シフトは、そのままカレンダーに自動で反映されるため、管理者はそれを基に調整を行うだけと、シフト調整の負担が軽減される。

また、シフト調整時のスタッフへの出勤依頼などは、チャット機能でコミュニケーションが取れるため、返信スピードが速くなった点も大きなメリットだ。「月ごとにシフト作成しますが、シフト表を一斉送信すると、スタッフから「こ

の日、人数が少なくないですか？」など指摘されることも（笑）。スタッフが現場をより理解してくれているので、サポートしてくれるのはありがたいですね」（陸門氏）

「Airシフト」と連動し使いやすいスタッフ用シフト管理アプリ「シフトボード」

「Airシフト」導入時には、スタッフ用のシフト管理アプリ「シフトボード」も同時導入。スタッフは「シフトボード」を自身のスマートフォンにダウンロードし、店舗専用のQRを読み込むだけで運用を始めることができる。

「スタッフからは、シンプルで分かりやすいユーザーインターフェイスで、すぐに使えて便利との声が上がっています」と陸門氏。

サービス運用のカンタンさも「Airシフト」と「シフトボード」の特徴。導入する際、わざわざスタッフを集めて使い方を説明する必要や、マニュアルを読むように指導する必要もなく運用が開始できるため、店側、スタッフ側双方に負担がかからない点は大きなメリットだと感じている。

Lino Drops Kamakuraのシフト管理アプリ「Airシフト」の活用法



これまではパート・アルバイト4人体制であり、固定シフト制であったことから、一つのカレンダーに手書きするというアナログな手法を採っていたが、コロナ禍で入店制限を行うため、新たに3人のスタッフを追加採用。スタッフが増えても、シフト管理の負担が増えないようにと「Airシフト」を導入した。実際に導入してみると、各スタッフの希望シフトが一覧表に自動で反映される他、提出忘れのリマインドなども自動送信されるため、シフト管理作業がかなり軽減。シフトに関するスタッフとのやりとりも「シフトボード」で完結するため、よりスムーズなコミュニケーションが取れるようになった。

Lino Drops Kamakura

〒248-0006
神奈川県鎌倉市小町2-12-29 鈴木ビル1階
営業時間/10時30分～17時30分
定休日/毎週水曜日、12月28日～31日

サポート体制

「Airシフト」への登録後は、専門スタッフによる電話での導入サポートを実施。また、関連資料はメールにて請求が可能だ。

お問い合わせ先
Airシフト ヘルプデスク
電話：0120-759-225（平日10時～19時）
<https://faq.airshift.jp/hc/ja/requests/new>

シフトボード

スタッフ用シフト管理アプリとして、圧倒的な人気の無料アプリで、ダウンロード数は600万以上

「シフトボード」上で、シフトの提出・確認ができる他、店側とチャットでやりとりが可能。また、一度追加したシフトは履歴から素早く複数追加できるなど、管理も楽に行える。毎月の給与を自動計算してくれる機能など、スタッフが欲しい機能を網羅している点が、圧倒的な人気を誇る理由だ。店舗が用意するQRコードを「シフトボード」で読み込むだけで連携ができる簡便性でも、支持されている。